

特定非営利活動法人エフエムわいわい 2023 年度事業報告書



2023 年度地域多様性の発信サイト更新、2023 年度開始 JICA 草の根事業ペルー事務所駐在員報告、2023 年度食糧支援とヒアリング

◆総括（文中では特別非営利活動法人エフエムわいわいを FMYY と表示する）

2023 年度も長田地域を中心にした地元の方々とのコラボ事業、そして世界と常につながっている FMYY ならではのペルーでの JICA 草の根「在日日系人が培った知識と経験を生かしたコミュニティ防災力強化事業」、また日本の未来予想図として現実味を帯びてきた 2040 年外国人住民 10%時代を実感する外国人留学生を中心とした外国人住民意識調査などを行うことができた。そのことにより阪神・淡路大震災からの 30 年を前に、これまで積み上げてきた「長田における多様性のまちづくり」の現状把握と未だ解決しない問題点の「見える化」「その解決への糸口」に対して言語化が可能となってきた。これらの実績を行政や協働する団体と共有し、社会の流れに呼応した新たな次の一手への下準備が整ってきた。

新たな展開としては企業の地域創生並びに地域貢献研修のコンサル会社からのオファーで実施した多文化共生の先進地域長田視察は、今まで FMYY が長田で多文化共生社会構築のため協働してきた地域市民団体・地域企業、外国人自主団体、支援団体、そして地元で起業している外国人経営のレストランやケミカルシューズ会社を訪問することにより、FMYY としても貴重なヒアリングの時間となった。

2024 年 1 月 1 日の能登半島地震では、2022 年末からサンテレビニュースキャスターの依頼で制作協力していた津波警報避難行動 7 言語の動画が活用されたことは、必要ではあったという思いとは別に深い哀しみを伴った。

2023 年度の長田の多様性の現状確認、そして問題解決の取り組みは確かな手応えと成果の実績は得た。それは民間・行政を問わない多方面にわたる広く深く強い協働の力の存在が確かに存在したからである。この協働のつながりは長田から日本国内に広がり、今や国をも越えたものとなっている。この団体の 30 年に渡ろうとする歩みは「誰もが住みやすい街づくり」を目指してきたからであり、その積み重ねが少なくとも多文化共生のまちづくりの一助になっていることを、FMYY を支えてくださるみなさまと共に喜びたい。もちろん今後の被災地支援のあり方の再考は不可欠であり、世界各地の紛争の激化に対しても FMYY はどう対峙していくかの語り合いの場も必須である。

I 事業

多文化共生のまちづくりに資するコミュニティメディア事業

発信

YouTube を使った動画配信と連携した Podcast 配信、FMYY ホームページの音源掲載（オンデマンド）

(1) 番組の配信形態・配信システム全般について

FMYY の配信は、YouTube を基本としている。それぞれの番組制作者が伝えたいリスナー状況に合わせて YouTube Live や FaceBook Live の同時活用、収録番組制作その後編集で効果的な配信画像にしたりと多様な手段を用いている。YouTube 登録者数が 1000 人を超えた。

※Podcast では FMYY の番組を音声のみで視聴可能。

<https://itunes.apple.com/jp/podcast/id1453314211>

			
クロマキー+zoom モニター 投影 YouTube+FB 生配信	クロマキー+スタジオ収録 編集 YouTube 配信・FB 告知	クロマキー+スタジオ収録 編集 YouTube 配信・FB 告知	音声のみ納品、写真動画とし て YouTube 配信・FB 告知

(2) 多様性の配信番組

以下の番組を FMYY YouTube チャンネルにて公開している。アドレスは次の通りである。

<https://www.youtube.com/user/fmyytube>

カテゴリー	番組名	放送形態
ダイバーシティ	スペイン語番組 「Latin-a」	毎週水曜夜 7 時から 8 時まで生放送で配信。スペイン語による医師の健康相談、社労士による visa などの制度の説明。週間天気予報。防災の知恵。ライブ配信のメリットを活かし専門家とリスナーによる質疑応答。毎月発行の情報誌 Latin-a と連動。一般社団法人ひょうごラテンコミュニティ制作。
	ベトナム語番組 「HÃY AN NHIÊN MÀ SỐNG」	月 3 回 10 分から 15 分程度の番組として毎週配信。日本の文化紹介、技能実習生制度について専門家の解説、問題点の顕在化、ベトナム人医師や留学生からの報告、日本語教育について日越両言語で配信。ベトナム夢 KOBE 制作。
	やさしい日本語番組 「AWEP あんしんつうしん」	月 1 回基本的に日本に住む外国人女性支援のためのお役立ち情報の紹介。タガログ語による解説あり。NPO 法人アジア女性自立プロジェクト制作。
	タガログ語番組 「MASAYANG TAHANAN」	月 1 回当事者団体からのタガログ語による発信。神戸市地域協働課の補助金により配信。
	らの会わいわい by ネット ワークながた	月 1 回 障害者が社会で自立していくためのいろんな方法や事例を紹介するライブ配信番組。プロジェクト M 提供。

	エフエム二風谷放送（愛称：FMビバウシ）	月1回二風谷からの放送をデータで受信、それを YouTube で配信。プロジェクト M 提供。
	片岡法子と桂福点の虫 MEGA ネット	月1回視覚障害者の視点で見た街の事象を配信。現在お休み中。
社会への提言	コミュニティ AD	FMYY としてぜひ紹介したい取り組み、またはゲストとして来局された方の取り組みを配信。
未来・次世代	高校生・大学生番組（インターン・授業）	インターンや見学に来た学生たちが実感したことを発表する場として活用。
	わいわいキッズラジオ	2ヶ月に1回子どもがメインパーソナリティとなり、自分達自身で番組構成配信。一般社団法人パートナーズ提供。
交流・参加(居場所)	街ブラ〜人と街とくらしを探る	2ヶ月に1回、女性ならではの視点で街の中の素敵を探り、ゲストにむかえ直接お話をお聞きする番組。一般社団法人パートナーズ提供。
	ワンコイン番組	毎週土曜日 12 時からを番組ではなく地域での気づきなど会員からの発信やそこにつながる人々の発信の場として運営維持している。ライブとして随時配信。基本的に FMYY 会員が1コイン/一人の協力金を支払うことで配信。
イベント中継	震災記念番組 /地域イベント	毎年の1月17日の「1.17KOBE に灯りを in ながた」会場からは YouTube/Facebook/zoom ライブ配信
海外	JICA 草の根事業	多言語番組+いろんな内容インドネシア防災活動レポート
防災番組	FMYY からのお知らせ	兵庫県国際交流協会、神戸市国際文化交流課、入国管理室などの情報

(3) 助成金を活用したタガログ番組制作

神戸市「企画調整課」NPO 等活動補助制度（3年継続の2年目）を受け、「多様な住民への多言語情報配信〜タガログ語版〜『警報発令時における自助コミュニティの情報収集・受信力向上プロジェクト』」としてフィリピン人女性たちのコミュニティからの情報発信事業として実施した。

(4) 多様性の発信イベント

日付	名称	参加形態
4/29	第20回長田の園遊会 花水木まつり	実行委員会委員
7/17・18	第21回夏越ゆかた祭〜ゆかたでナイト	実行委員会委員
8/5・6	大国公園なつまつり	地域 TCC 連携団体
10/14	第20回おやつはべつばら杜フェス	実行委員会委員
10/22	第6回くにづかりポーンマルシェ	FMYY 賛助会員地域商店街管理団体からの依頼で多文化屋台コーディネイト
1/17	第26回 1.17KOBE に灯りを in ながた	実行委員会役員/YouTube で現場から配信
3/31	第10回しんながた・くにづかローカルワールドフェスティバル	FMYY 賛助会員地域商店街管理団体からの依頼でイベントコーディネイト

災害の被災者支援・防災力向上事業

防災力強化国外事業

(1) ペルーでのコミュニティ防災支援事業

2023年1月から五年間、JICA 草の根技術協力事業「在日日系人が培った知識と経験を生かしたコミュニティ防災力強化事業」を一般社団法人ひょうごラテンコミュニティと協力して実施している。

首都リマから近いカヤオ特別県ミペルー区で自主防災グループの組織化と能力強化、現地の学校教育および生徒を対象にした防災教育に取り組んだ他に、首都リマにある日系学校4校（移民した日本人が設立したかつての日本人学校をルーツに持つ学校や日系人が設立した学校）の教員を対象に防災教育に取り組んだ。事業の実施にあたり、神戸学院大学防災社会学科教授の松木伸江先生、兵庫県防災士会理事長の室崎友輔氏が現地での実施研修やオンラインでの研修などに専門家として参加した。

また、阪神淡路大震災以降、KOBE で培ってきたコミュニティ防災の経験と知識を上記の対象者だけでなく、広くペルー社会に伝えるために連続10回のオンラインセミナーを実施した。

事業を開始して1年余りが経過して、着実にKOBEのコミュニティ防災の経験と知識が現地に対象者に根付いておりミペルー区役所と連携して、自助、共助、公助のトライアングルの形成に向かっていく。

(2) インドネシアでのコミュニティ防災事業

2022年3月に終了したJICA 草の根「官民協働によるコミュニティラジオを活用した防災力強化事業」を踏まえて、現地パートナー団体のメンバーで構成する組織「Radar Tangguh」とJICA インドネシア事務所とインドネシア国家防災庁（BNPB）の三者で、災害発生に備えて災害ラジオ局の機材を備蓄して、災害発生時に災害ラジオ局を開設、運営する体制を整備するパイロット事業の実施に向けて事業プラン作成の支援を行なった。この事業は2024年6月にスタート予定。

なお、FMYY は2006年から世界のコミュニティラジオ局との繋がりができ、特に日本と同様に災害が多発するインドネシアのコミュニティラジオ関係者と「防災とコミュニティラジオ」をテーマに互いの経験と知識の共有に取り組んできた。

防災力強化国内事業

(1) 神戸市危機管理室との連携

「外国人コミュニティへの情報伝達は当事者コミュニティの存在と活動継続が必須」の考えを粘り強く伝え、ラテン・ベトナム・タガログ・やさしい日本語での情報発信元であるそれぞれの団体とFMYYの番組制作補助金として年間252,000円の覚書を交わしている。

(2) 被災地との連携

2023年10月22日・23日新潟県中越地震（2004年）の被災地山古志との交流、長岡FMの中継にFMYYより金千秋が参加した。

2024年2月24日・25日「第9回全国被災地語り部シンポジウム in 東北」@南三陸にFMYYより金千秋が参加した。

(3) 他メディアとの連携、講演活動他

2023年6月12日NPO法人横浜コミュニティデザイン・ラボ主催の「出版記念トーク『雑草ラジオ』著者の瀬戸義章さんに聞く」にFMYYより金千秋がゲスト登壇した。

2023年12月10日一般社団法人神戸コリア教育文化センター主催の「『向こう川に橋を架ける～映画

福田村事件』ヒットの裏側から災害時の人権を考える」に FMYY より金千秋が登壇した。

災害時の備えとして7言語でのVTR制作に協力したサンテレビの津波警報が、実際に2024年1月1日能登半島地震発災後の緊急避難呼びかけに利用された。

国内外共通事業

(1) 関西学院大学総合政策学部山中研究室との共同研究

被災地における防災の記憶継承のコンテンツとしての映像制作「記憶を語り継ぐ、阪神・淡路大震災」は2018年度からの素材を再構成し完成した。2024年3月15日にカトリックたかとり教会聖堂にて上映会を開催した。

インドネシアのムラピ山麓のコミュニティラジオ局「lintas Merapi FM」と記憶継承ラジオ番組を制作し、その番組を聴いたコミュニティの若者達に対する聞き取り調査を現地で実施した。

支援募金

(1) トルコ・シリア地震

2023年2月6日発災の情報を受け、FMYYにできること「地域の情報を配信する、募金活動」を開始した。その後2023年度はトルコの被災者が来神された。トルコの現状説明会と「トルコでの炊き出し体験会」を開催した。説明会開催と番組制作はプロジェクトM寄付から謝金として活用、募金の届け先はトルコ被災地支援をしているCODE海外災害援助市民センターに渡すことができた。

(2) 2024年1月1日発災能登半島地震

支援金の呼びかけを実施。現金でFMYYに寄せられたものについては全額を被災地NGO支援センターに寄付を行った。



多文化共生に資するネットワーク・協働事業

(1) タブコラ事業

PHD協会がJICA関西からの委託事業として実施するNGO等提案型事業「兵庫発！多文化共生のための市民社会とビジネスセクター連携構築プログラム ～外国人労働者とのより良い共生に向けて～」(タブコラ事業)の協力団体(理事の日比野純一がコンサルタント事業として参加)として、兵庫県内(三田市、加東市、神戸市など)の外国人労働者の生活環境の改善に取り組んだ。特に、多文化共生に取り組む団体と社会福祉に取り組む団体が連携して地域在住外国人の暮らしを支えていく仕組み作りを三田市で取り組み、その成果をブックレットにもまとめた。タブコラ事業は2023年8月に終了し、フェーズ2の実施に向けて、NGO等提案型プログラムにPHD協会、多言語センターFACILとともにJICAに申請した提案事業「多文化共生に資するコンサルテーションを通じたNGO等の能力強化プログラム」

が採択され、2024年4月から実施している。

(2) 兵庫・国際協力同志の会 (HYOMIC) の活動

兵庫・国際協力同志の会 Hyogo Network of Copemates for International Cooperation (HYOMIC) の幹事団体 (FMYY、PHD 協会、多言語センターFACIL、Future Code、JICA 関西、神戸国際交流協会) の一つとして、地域社会での活動を大切にしながら、その経験を活かして国際協力活動、多文化共生活動に取り組んでいる NGO と JICA 関西を中心とした兵庫ならではの集まりの場を作ることに 2023 年度も尽力した。開催したセミナーは以下の通りである。

第 9 回 HYOMIC セミナー「「難民から考える兵庫、私たち一難民支援協会 代表理事の石川えりさんと語る」」2023 年 11 月 27 日@JICA 関西

第 10 回 HYOMIC セミナー「関西の学生・若手が多文化共生セミナーを開催! 「共に生きる～身近なことから考える～」」2024 年 3 月 3 日@JICA 関西

地域の多文化共生に資する場づくり・啓発活動

(1) 長田区多文化共生

長田区役所とともに地域に出向き外国人住民を取り巻く環境改善の事業を 2023 年度も継続実施している。長田区内の地縁団体、外国人コミュニティ、日本語学校、NPO、区役所のメンバーが「多文化共生と居住」のより良い未来設計を描き今年度は外国人居住者地域デビューという新たなミッションを掲げた。

2023 年度実施した活動は以下の通りである。

1. 在住ベトナム人と行政及び地域等とのネットワークづくり
2. 在住ベトナム人と地域との文化交流の促進・地域デビュー
3. 長田区在住外国人を対象にした生活実態調査と調査結果分析
4. 在住ベトナム人の地域における居場所及び出番づくり事業の実施
ベトナム料理レストラン紹介 WEB サイトの拡充
5. 在住ベトナム人へ習慣やマナーなどの各種啓発事業の実施
6. 地域等への各種啓発事業の実施

(2) 食糧支援

昨年度に引き続き、YY 支援者からの食料寄付などをもとにその他必要な日用品と合わせて配布する形で、NGO 外国人救援ネットの食糧支援事業に協力した。主に長田区内日本語学校留学生やインドネシアからの留学生に対して、神戸国際コミュニティセンターや神戸常盤大学 (健康相談) の協力を得て実施した。配布場所はたかとりコミュニティセンターや FMYY 事務所、神戸国際コミュニティセンターにて開催に加えて、今年度は留学生以外に地域在住外国人への配布も、それぞれのコミュニティの拠点で実施した。

(3) 多文化共生を語る地域懇談会と地域の多文化を学ぶ街歩き (六甲アイランド基金助成事業)

多文化共生の心を持って長田区で活動している様々な団体や関係者が 3 回の多文化地域懇談会と 3 回の多文化を学ぶ街歩きに参加する取り組みを行った。長田区は地域に根を張った在日コリアンやベトナム人が日本人と共に阪神・淡路大震災を残り越えて、復興のまちづくりに一緒に取り組んできた歴史を学ぶとともに、それぞれの取り組みについて意見交換を行い、今後の多文化共生のまちづくりに活かしている繋がりを深めることができた。実施した懇談会と街歩きのテーマは以下の通りである。

第 1 回懇談会：外国人住民の居住

第 2 回懇談会：外国人住民の文化を生かした地域づくり

第3回懇談会：在住外国人と防災

第1回街歩き：在日コリアンとベトナム難民の定住の歴史

第2回街歩き：テーマ：在日コリアンの定住の歴史

第3回街歩き：外国人住民の文化を生かした地域探訪

多文化共生に資する研究、教育、啓発事業

(1) フィールドワーク受け入れ・コーディネート

研修/フィールドワーク	全国被災地国際シンポジウム in 東日本、KICC（神戸国際コミュニティセンター）、ふたば学舎、KOBEAmbassador、NTTコミュニケーションズ長田視察
番組を活用した調査	関西学院大学総合政策学部山中速人教授との共同事業（阪神・淡路大震災の動画を活用した記憶継承）、甲南女子大学、龍谷大学、大阪大学・京都大学ベトナム人留学生（多文化共生ガーデン）

(2) 講演講師依頼・インターン受け入れ

インターン受け入れ	神戸学院大学、神戸大学 GSP
ボランティア受け入れ	神戸大学地域連携推進室、関西国際大学、大阪大学 (1.17KOBE に灯りを in ながた)
講義 (非常勤講師など)	神戸親和大学、神戸常盤大学、神戸大学、神戸学院大学、関西国際大学、甲南女子大学、駒が林中学校、だいち小学校、長田南小学校、神戸幼稚園

II 管理・運営

(1) 団体の管理運営

本年度も引き続き事務局は主な開所日を週3回としている。

現在有給スタッフは9名で、ペルー事業を担当するスタッフは現地常勤が1名、国内勤務との兼任が2名となっている。理事・顧問については、会議参加の他、各専門分野での助言他、外部との調整、イベント実施などに尽力いただいた。一部事業については、外注を行うこともあり、各分野のプロフェッショナルに力を発揮していただいている。

ボランティアスタッフについては単発的に関わっていただく以外の関わりが少なくなっている。これはコロナ禍以降、事務局に集まる機会が減少したままということと、事務局が巻き込む力が弱まっていることが原因と思われる。リモートワークの環境も少しずつではあるが整ってきているので、来年度以降いろいろな形で関わってもらえるような機会を創出したい。

事務局（たかとりコミュニティセンター2階）

事務局（総務、庶務、会計）：金、古寺

番組配信担当：金、平野

多文化事業担当：金、日比野

草の根担当：日比野、中川、ジェラルド、岡戸、古寺

ICT 担当：大川、平野

事務所開設日基本は、水・金・土の9時半から18時

理事：大城ロクサナ、大坪義一、金千秋、橋爪明日香、長谷部治、日比野純一、李玉順、高松純一、藤田学

監査：森崎清登、高龍弘

(2) 決算

別紙参照

(3) 支援者・寄付・ファンドレイジング

ア) 会員等

	正会員	一般会員	賛助会員	YYnews 購読者 (登録数ベース)
2022 年	23 名	48 名	9 名	333 名
2023 年	23 名	52 名	12 名	336 名

イ) 寄付

2023 年度も FMYY の活動に対して多くのご支援をいただいた。

個人寄付	一般寄付	使途指定寄付	機材寄付	その他	合計
47,489	496,945	500,000	500,000	155,528	1,699,962

(4) その他特記すべきこと

2023 年度は大切な仲間 3 人の訃報が相ついだ。哀悼の意を表したい。

2023 年 12 月に FMYY の最初から地域に根付く奄美諸島の人々の心に届く歌声と共にその文化・歴史を語ってこられた大橋愛由等氏、2024 年 3 月には FMYY がインドネシアでの災害ラジオの制度化に取り組んできたパートナーの中で、最も古くから活動を共にしてきたイマム プラコソ氏、同じ 3 月たかとりコミュニティセンターの仲間、またブラジル人コミュニティの代表として活躍された松原 マリナ アキヅキ氏らが亡くなった。松原マリナ アキヅキ氏が放送していた FMYY ポルトガル語番組「CANTABRASIL」での流れるような語り口調が記憶に残る。

彼らが取り組んでいた姿は私たちの心にずっと残っている。



大橋愛由等氏
奄美専門チャンネル「南の風」

イマム プラコソ氏 (写真右奥)
インドネシアの仲間たちと YY スタジオにて

松原 マリナ アキヅキ氏
ポルトガル語番組「CANTABRASIL」

(5) 会議運営

- ・事務局会議 2 週間に一度水曜日 10 時 30 分から
- ・ペルー事務所との連絡会議：火一土の午前 7 時 50 分から WA ビデオで実施している。
- ・ペルー事業運営会議：各週火曜または水曜に 22 時から ZOOM で実施している。

- ・理事会 2023年4月25日、7月22日、8月6日
2024年1月11日、3月15日
- ・総会 2023年6月10日（2022年度）
- ・監査 2023年5月31日（2022年度）

